

ETF投資家調査2021

本調査では、上場投資信託（以下「ETF」）の認知状況や個人投資家によるETFの活用などを明らかにするため、アンケートによる調査を行った。

調査結果の概要

本調査の結果から、ETFを購入した投資家は高い満足度を得ていることが明らかとなった。また、ETF投資家は収入・保有資産が多いこと、金融/投資リテラシー及びESG投資への関心度がいずれも高く、その多くが株式や投資信託など他の金融商品へ投資した経験があることもわかった。

ただし、個人投資家にはETFという金融商品の認知は限られた水準に留まった。ETFの利用に関しても普及段階にあり、こうした背景にはETFの仕組みに関する理解などの知識不足があることがわかった。

これらの調査結果を踏まえると、株式や投資信託などの投資経験者をはじめとして、ETFの認知度を高め、理解を深めるためのわかりやすい情報提供の充実に努めることが、ETFの活性化につながると考えられる。

1. 株式や投資信託など他の金融商品と比べ、ETFの浸透度は低い
2. ETFの購入経験者及び購入意向者は、東証上場ETFの中でも国内株式（日経225、TOPIX）を選好している割合が高い
3. 主な魅力は、リアルタイムで売買可能、手軽に分散投資可能などと回答したETF購入経験者の割合が高い。主な課題は、専門知識が求められる点などと回答したETF購入未経験者の割合が相対的に高い
4. ETF購入者の満足度は6割超であり、ETF購入の主目的はリターンの追求や将来の資金需要
5. 金融/投資リテラシー及びリスク許容度が高めの投資家がETFを購入
6. 収入や保有資産が多い投資家ほどETFを購入
7. ETF購入者の8割以上が「株式」「投資信託」の購入経験あり
8. ETF購入者は総じて非購入者に比べ、ESG投資への関心度が高い

調査概要

20～69歳を対象に、インターネットによるアンケートを実施。本調査におけるサンプル数は1,855、調査期間は2021年8月27日～29日。詳細は巻末の「調査方法の概要」を参照。

ETFの認知・購入経験・購入意向

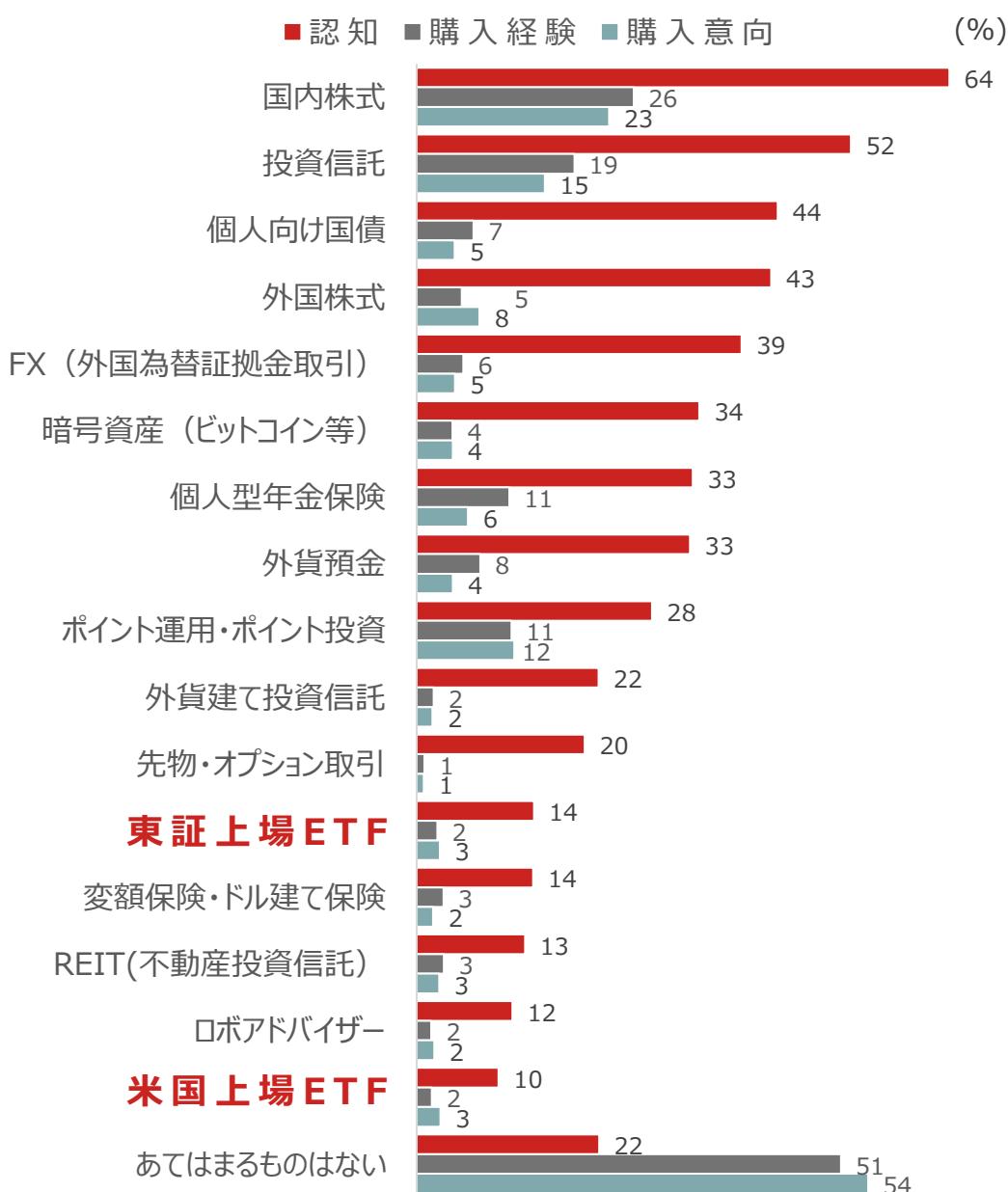
株式や投資信託など他の投資商品と比べ、ETFの浸透度は低い

金融商品/サービスについて認知、購入経験、購入意向に関するアンケート調査を行ったところ、国内株式や投資信託が上位に挙がる一方、東証上場ETFや米国上場ETFについては低水準に留まった。日本においてはETF上場から25年超経過しているものの、依然としてETFに関する浸透度が低いことがうかがえた。

Q)株式や投資信託をはじめとする『金融商品/サービス』に関して、それぞれお答えください。
(複数回答、事前調査 全体n=10,000)

- 1) あなたがご存知の金融商品/サービス：認知
- 2) あなたが自身名義で購入したことがある金融商品/サービス：購入経験
- 3) あなたが今後（も）購入したい金融商品/サービス：購入意向

金融商品における認知・購入経験・購入意向の状況



東証上場ETFの購入経験・購入意向の状況

ETFの購入経験者及び購入意向者は、東証上場ETFの中でも国内株式（日経225、TOPIX）を選好している割合が高い

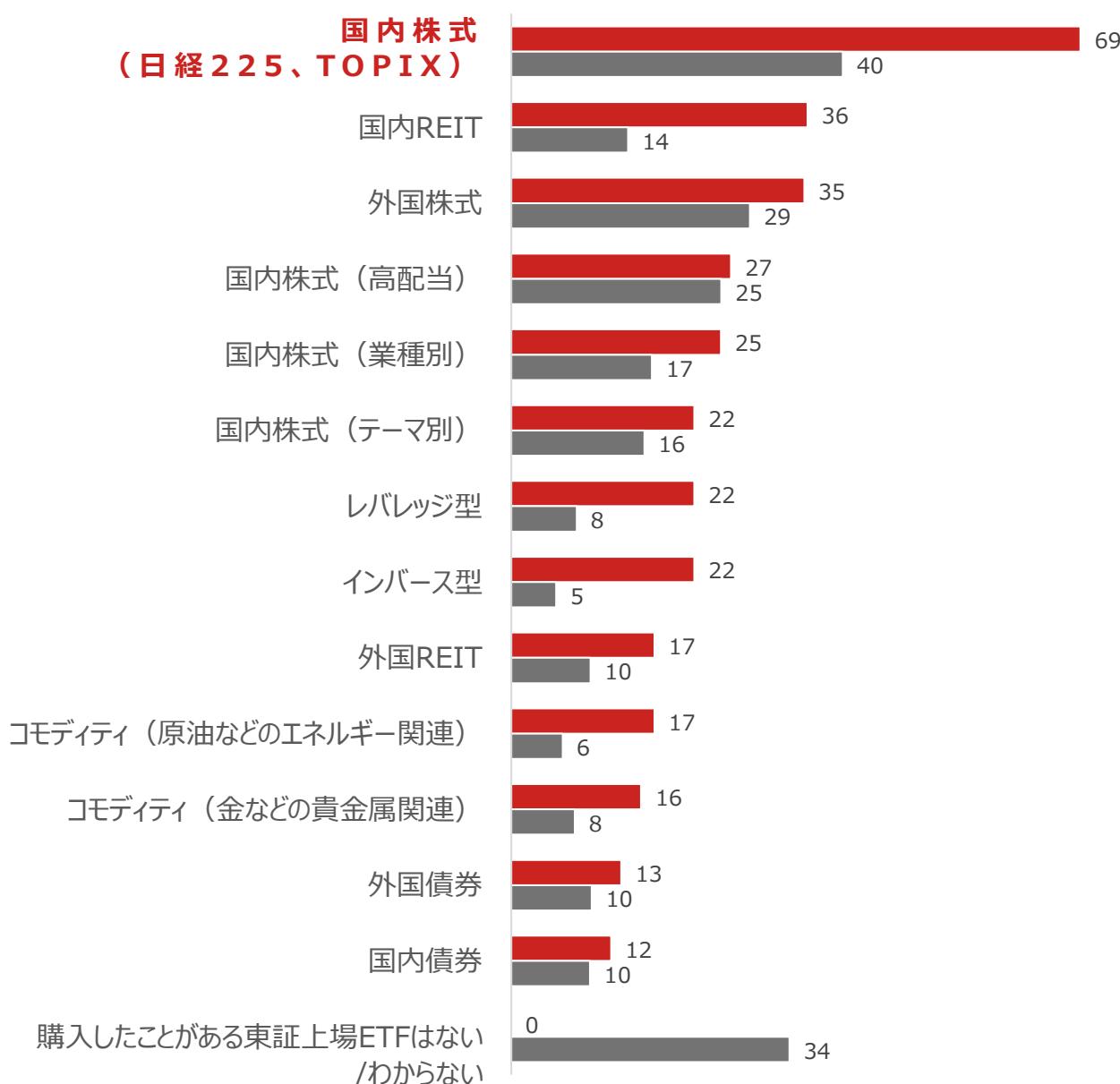
東証上場ETFを対象に購入経験を聞いたところ「国内株式（日経225、TOPIX）」が69%で最も高く、次いで「国内REIT」（36%）「外国株式」（35%）であった。購入意向については「国内株式（日経225、TOPIX）」が40%で最も高く、次いで「外国株式」（29%）「国内株式（高配当）」（25%）であった。

Q)「東証上場ETF」を知っているとお答えの方にお聞きします。以下に該当する「東証上場ETF」をそれぞれお選びください。

- 1) あなたが購入したことがある「東証上場ETF」のタイプ（複数回答、事前調査 東証上場ETF購入経験者 n=248）
- 2) あなたが今後購入したいと思う「東証上場ETF」のタイプ（複数回答、事前調査 東証上場ETF認知者 n=1,415）

東証上場ETFの購入経験・購入意向

■ 東証上場ETF購入経験者 ■ 東証上場ETF購入意向者 (%)



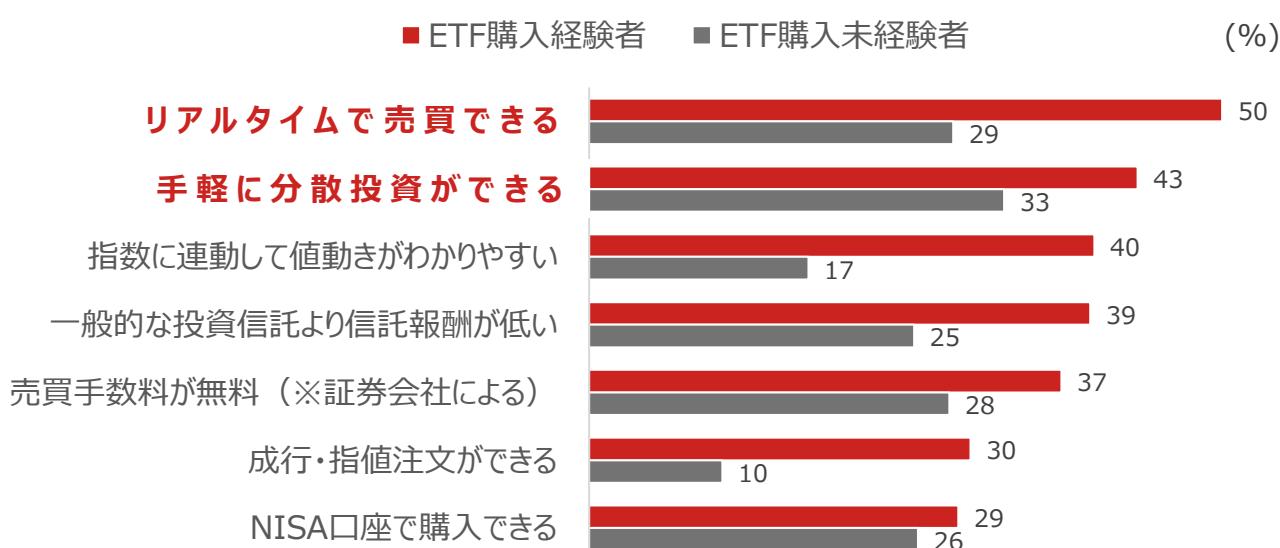
ETFの魅力と不満

主な魅力は、リアルタイムで売買可能、手軽に分散投資可能などと回答したETF購入経験者の割合が高い。主な課題は、専門知識が求められる点などと回答したETF購入未経験者の割合が相対的に高い

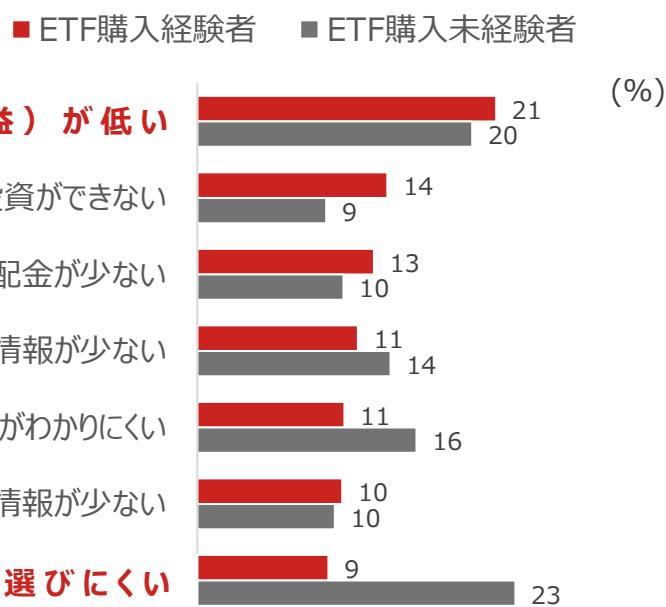
ETFの魅力として、ETF購入経験者では「リアルタイムで売買できる」、ETF購入未経験者では「手軽に分散投資ができる」を挙げる人が最多であった。一方ETFの不満として、ETF購入経験者では（一部の商品で）「リターン（収益）が低い」、ETF購入未経験者では「専門知識がないと選びにくい」を挙げる人が最多であった。

Q)あなたがETFの魅力を感じている内容をお選びください。あなたがETFの不満を感じていることをお選びください。
(複数回答、ETF認知者 n=945)

魅力



不満



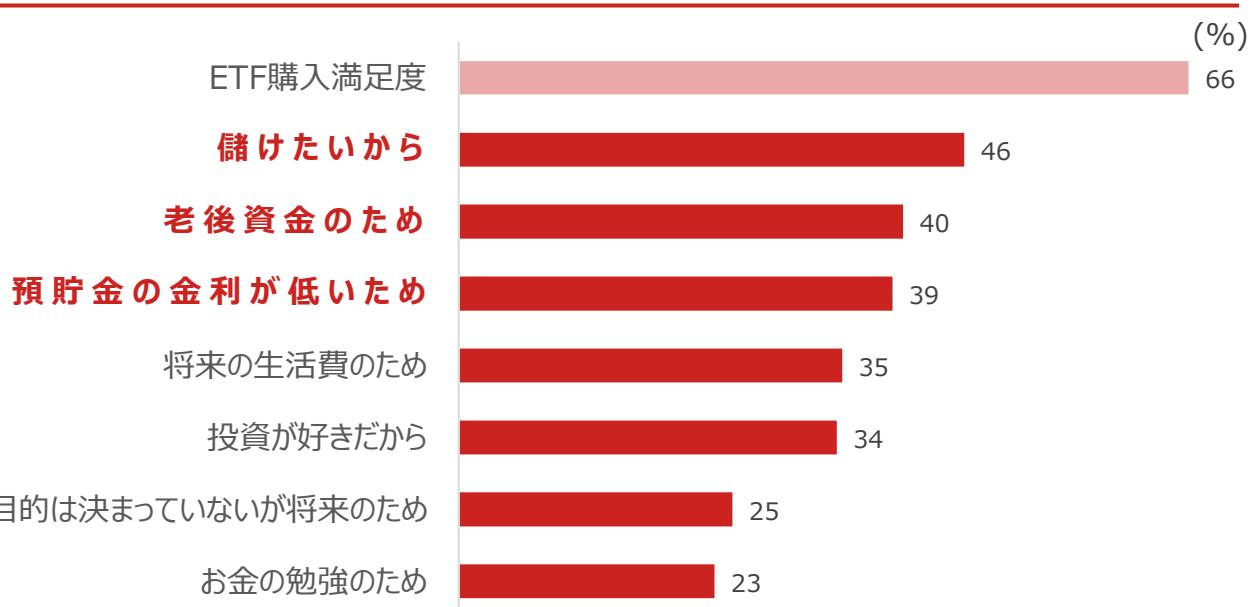
ETFの購入目的と非購入理由

ETF購入者の満足度は6割超であり、ETF購入の主目的はリターンの追求や将来の資金需要

ETFの購入については、全体で66%が満足している結果となった。購入目的は「儲けたいから」「老後資金のため」「預貯金の金利が低いため」が上位に挙がった。

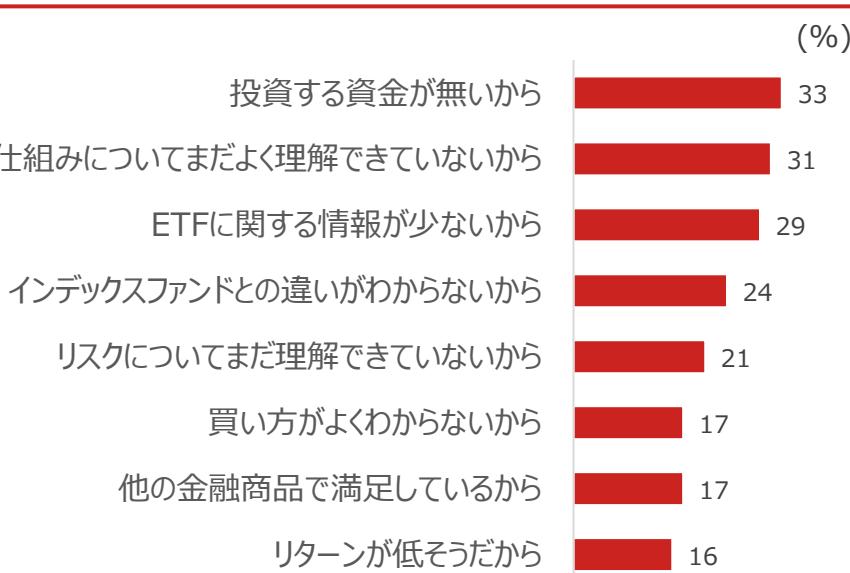
Q)あなたはETFの購入にどの程度満足していますか。あなたはどのような目的でETFへ投資を行っていますか。
(複数回答、ETF購入経験者 n=619)

ETF購入満足度と購入目的



Q) ETFに『興味はあるが、購入したことがない』方にお伺いします。あなたがETFを購入したことがない理由として、あてはまる内容をすべてお選びください。(複数回答、ETF購入未経験者かつETFを含む金融商品購入意向者 n=58)

ETF非購入理由



ETF購入における金融/投資リテラシーとリスク許容度

金融/投資リテラシー及びリスク許容度が高めの投資家がETFを購入

ETF購入経験者は「金融商品に関して、情報収集・購入は自分で決める」割合、投資リテラシーに関する全問正解数、リスク許容度がETF購入未経験者と比べて高いことがわかった。

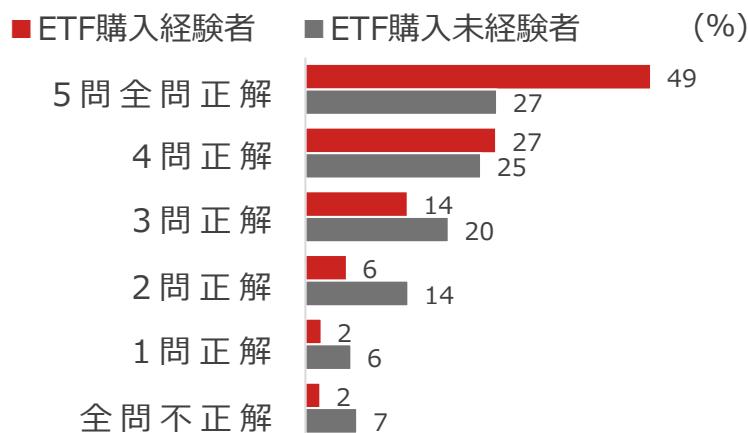
Q)金融リテラシー：あなたの資産運用・投資に対するスタンスとして、最も近い内容をお知らせください。投資リテラシー：適切な選択肢をお答えください。リスク許容度：あなたご自身の、金融商品や投資に対する意識として、最もご自身にあてはまる内容をお知らせください。（単一回答、全体 n=1,855）

金融リテラシー

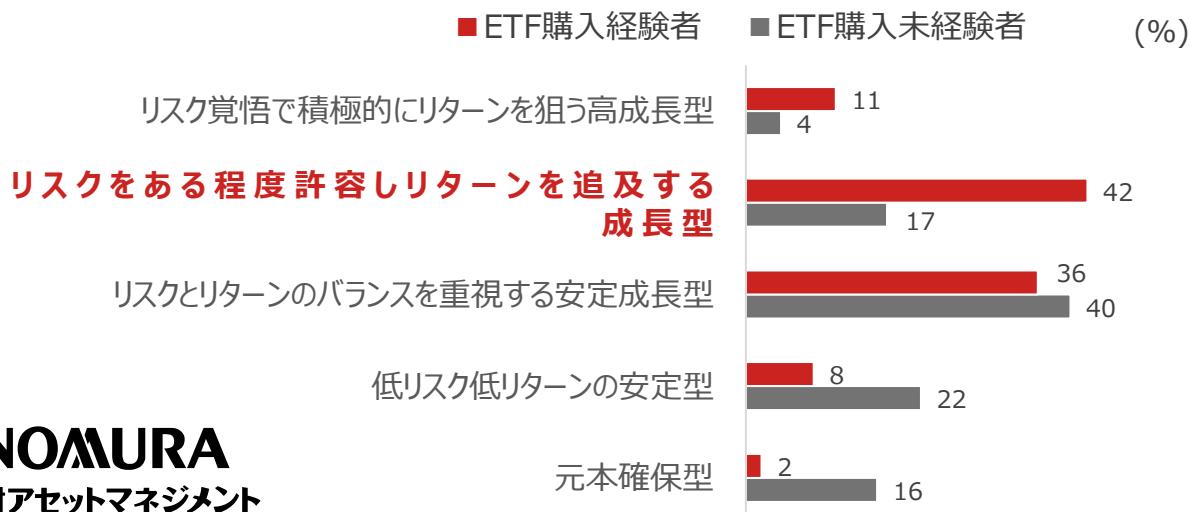


投資リテラシー

※Quiz詳細はP11参照



リスク許容度



ETF購入における世帯年収と保有資産金額

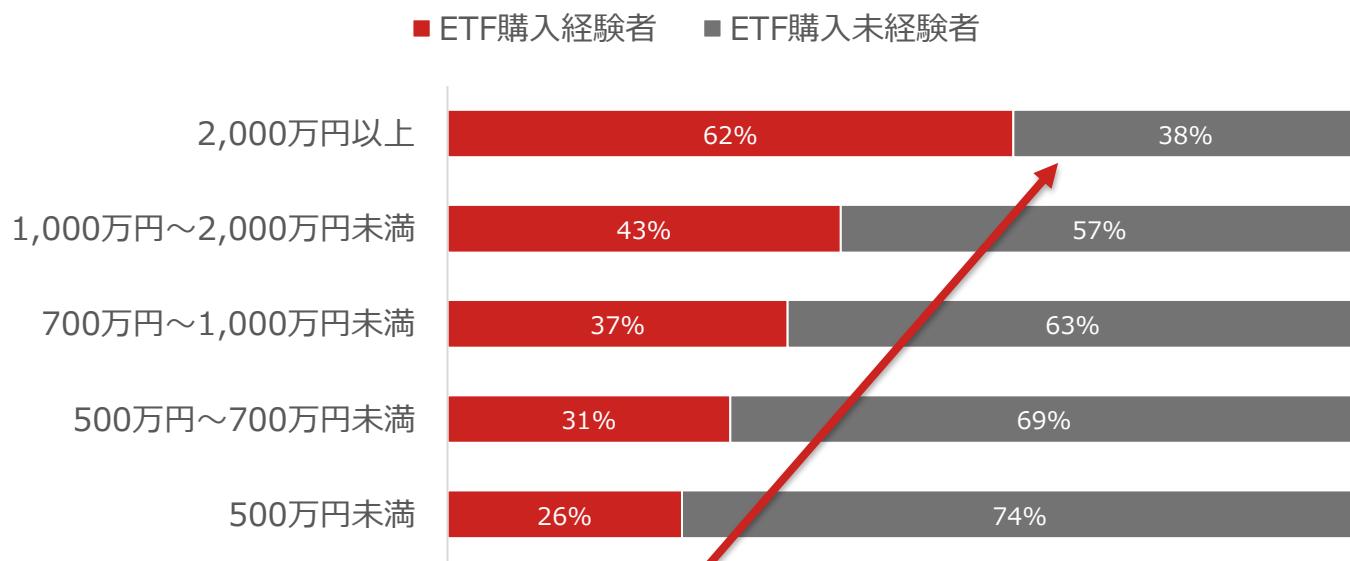
収入や保有資産が多い投資家ほどETFを購入

世帯年収が高いほどETF購入経験者の割合が増加し、特に世帯年収2,000万円以上では6割以上で購入経験があることがわかった。また、保有資産金額別で見た場合も、保有資産が多いほどETF購入経験者の割合が高いことが明らかとなった。

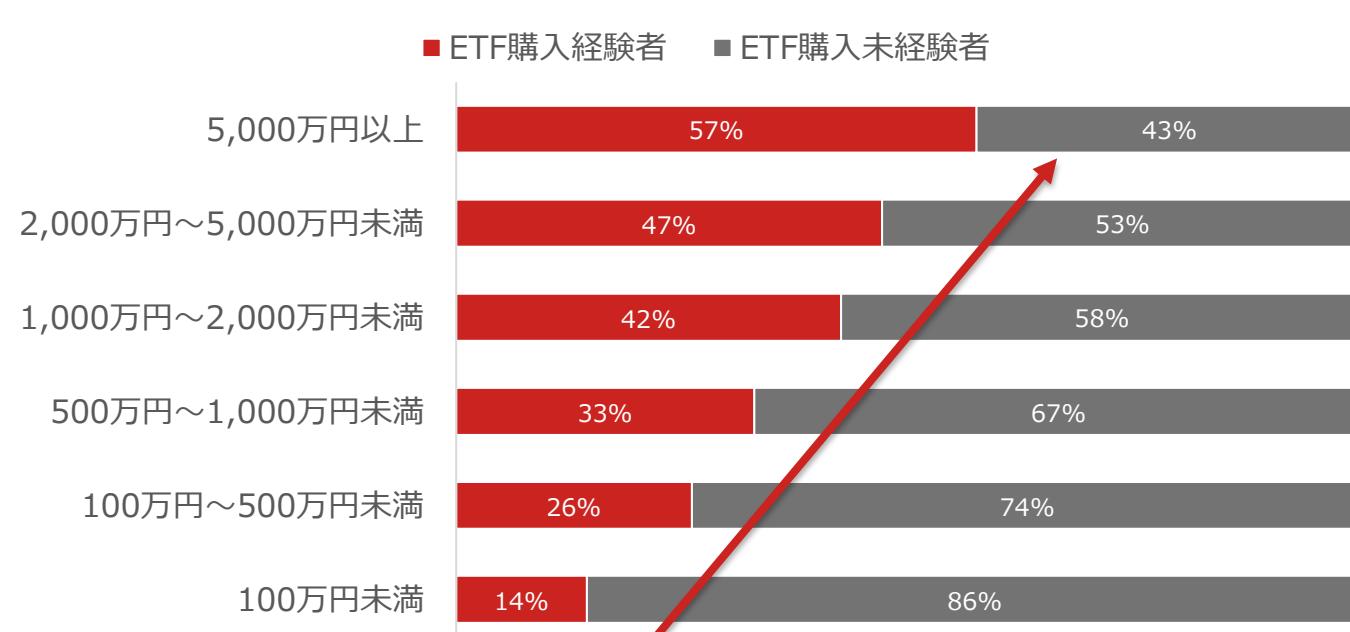
Q)世帯年収別：あなたの「世帯年収（税込み）」をお知らせください。

保有資産金額別：あなたの世帯で保有している金融資産（土地・建物除く）の合計をお知らせください。
(単一回答、全体 n=1,855)

世帯年収別



保有資産金額別



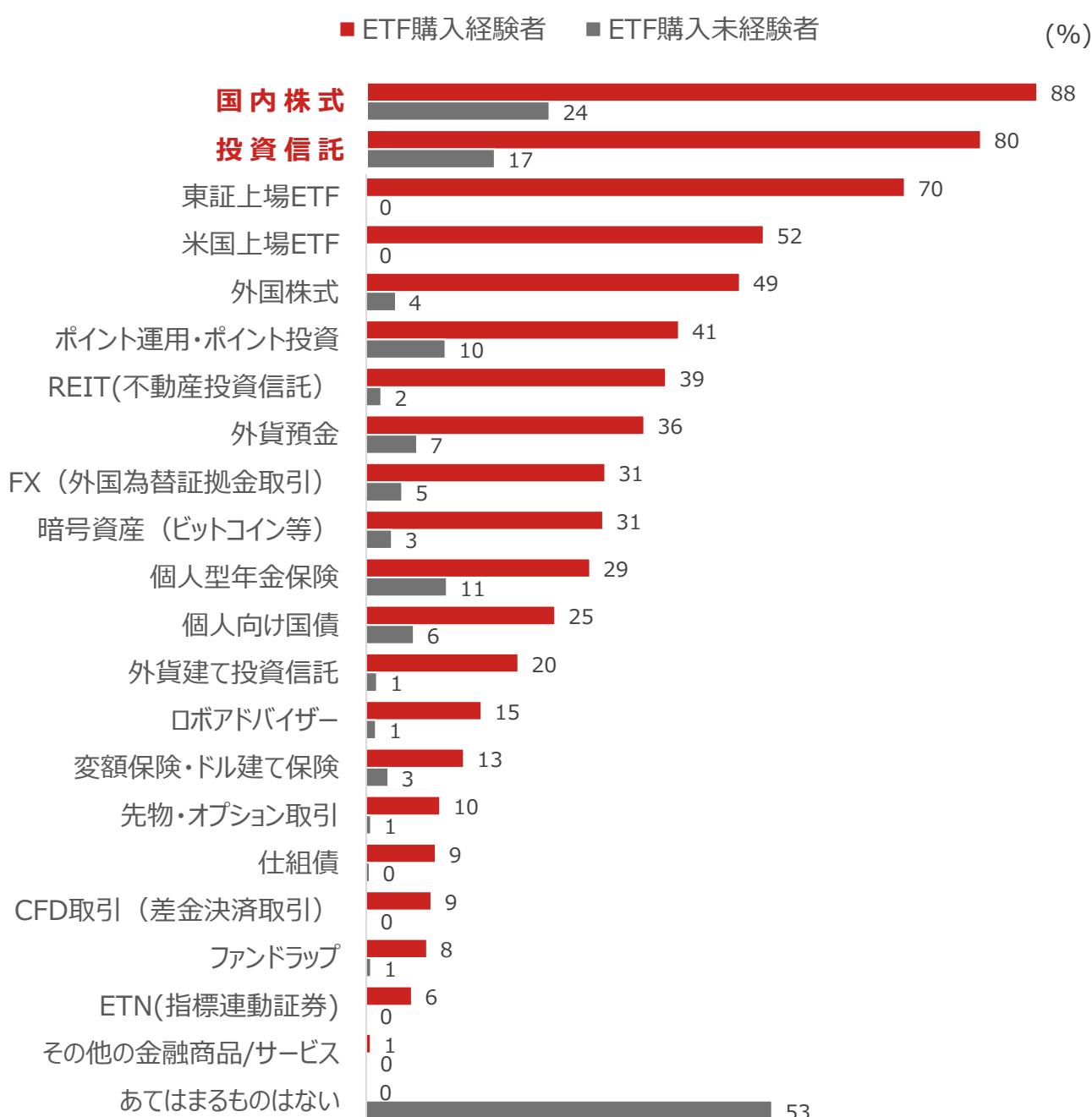
ETF購入経験別の金融商品購入状況

ETF購入者の8割以上が「株式」「投資信託」の購入経験あり

ETF購入経験者は8割以上が「国内株式」や「投資信託」の購入経験を有している。また、ETF購入経験者はETF購入未経験者と比べ、国内株式や投資信託以外の金融商品/サービスの購入経験の割合も高く、投資経験が豊富であることがわかった。

Q)あなたが購入したことのある金融商品/サービスをお知らせください。（複数回答、事前調査 全体n=10,000）

金融商品の購入経験



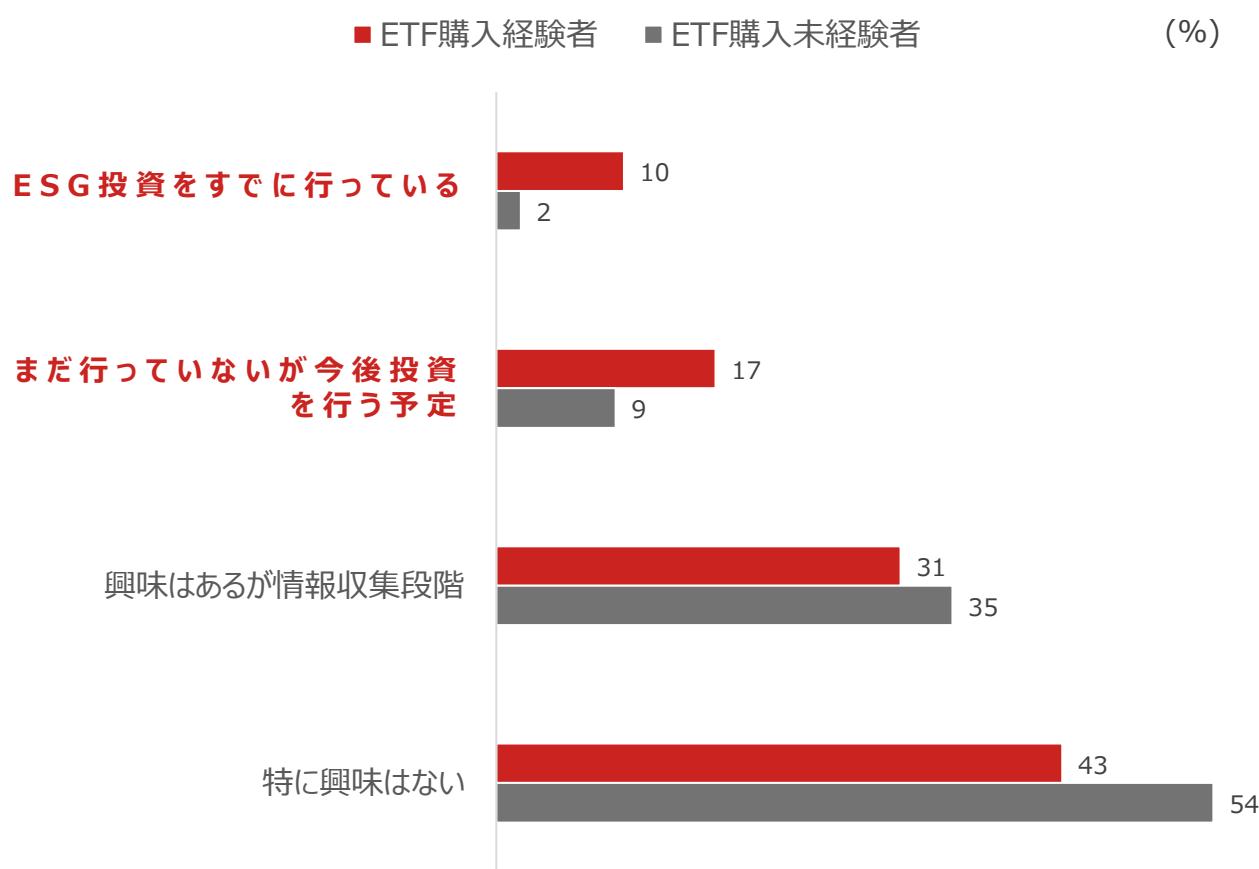
ESG投資への関心度

ETF購入者は総じて非購入者に比べ、ESG投資への関心度が高い

ETF購入経験者はETF購入未経験者よりも「ESG投資をすでに行っている」「まだ行っていないが今後投資を行う予定」と回答した割合が高い。加えて、ETF購入経験者のほうがETF購入未経験者よりも「特に興味はない」と回答した割合が低く、ESG投資への関心度がより高い結果となった。

Q)あなたはESG投資に興味がありますか。※ESG投資とは環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）への取り組みが適切に行われているかを重視する投資方法のことです。（単一回答、全体 n=1,855）

ESG投資への関心度



調査方法の概要

調査目的

本調査では、上場投資信託（以下「ETF」）の認知状況や個人投資家によるETFの活用などを明らかにするため、アンケートによる調査を行った。

調査対象、地域

20歳から69歳を対象にインターネットによるアンケート調査を実施、全国

サンプル数

事前調査：88,362人のうち人口動態に則した10,000人を一部分分析に活用

区分	項目	サンプル数	構成比
全体	合計	10,000	100%
年代	20代	1,549	15%
	30代	1,953	20%
	40代	2,302	23%
	50代	1,932	19%
	60代	2,264	23%
ETF購入経験	ETF購入経験者	352	4%
	東証上場ETF購入経験者	248	2%
	米国上場ETF購入経験者	183	2%
	ETF購入未経験者	9,648	96%
	株式購入経験者	2,361	24%
	投信購入経験者	1,647	16%
	投資意向者	479	5%

本調査：1,855人

区分	項目	サンプル数	構成比
全体	合計	1,855	100%
年代	20代	151	8%
	30代	367	20%
	40代	528	28%
	50代	388	21%
	60代	421	23%
ETF購入経験	ETF購入経験者	619	33%
	東証上場ETF購入経験者	549	30%
	米国上場ETF購入経験者	214	12%
	ETF購入未経験者	1,236	67%
	株式購入経験者	629	34%
	投信購入経験者	531	29%
	投資意向者	412	22%

投資リテラシーに関するQuiz (P6)

1. 以下の問題文をご覧の上、最も適切な選択肢をお答えください。100万円を年率2%の利息がつく預金口座に預け入れたとします。それ以外、この口座への入金や出金はなかった場合、1年後、口座の残高はいくらになっているでしょうか。利息にかかる税金は考慮しないで回答ください。

2. 以下の問題文をご覧の上、最も適切な選択肢をお答えください。100万円を年率2%の利息がつく預金口座に預け入れました。それ以外、この口座への入金や出金はなかった場合、5年後、口座の残高はいくらになっているでしょうか。利息にかかる税金は考慮しないで回答ください。

(選択肢 1. と 2. 共通)

- 1. 100.2万円
- 2. 101.2万円
- 3. 102万円
- 4. 102.1万円
- 5. 110万円より多い
- 6. ちょうど110万円
- 7. 110万円より少ない
- 8. この条件だけでは答えられない
- 9. わからない

3. 以下の内容をご覧になり「正しい」か「間違っているか」をお答えください。「高インフレの時には、生活に使うものやサービスの値段全般が急速に上昇する」

4. 以下の内容をご覧になり「正しい」か「間違っているか」をお答えください。「平均以上の高いリターンのある投資には、平均以上の高いリスクがあるものだ」

5. 以下の内容をご覧になり「正しい」か「間違っているか」をお答えください。「1社の株を買うことは、通常、株式投資信託を買うよりも安全な投資である」

(選択肢 3. ～ 5. 共通)

- 1. 正しい
- 2. 間違っている
- 3. わからない

(注) 金融広報中央委員会（事務局・日本銀行情報サービス局内）「金融リテラシー調査（2019年）」
より野村アセットマネジメント作成

調査時期

事前調査： 2021年8月25日（水）～ 8月29日（日）

本調査： 2021年8月27日（金）～ 8月29日（日）

【当資料で使用した指標の著作権等について】

・日経平均株価(日経225)に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。なお、同社は日経225連動型上場投資信託について一切の責任を負いません。

・TOPIXは、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指標の算出、指標値の公表、利用など同指標に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。

【当資料について】

当資料は、アンケート調査に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。



野村アセットマネジメント
資産運用研究所

商 号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／
一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会